

気象の科学展～天気予報ができるまで～

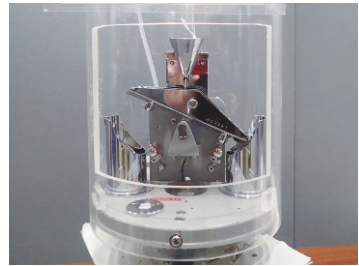
現在、展示場の4階で、お天気の企画展を開催中です！今回の企画展は、今年、2022年7月1日に設立140周年をむかえる大阪管区気象台とのコラボレーション企画展です！普段は展示していない科学館で保有している資料はもちろん、昔の観測記録や作業の様子、現在も行っている天気図解析の資料等、今回の企画展ならではの**実物資料**が盛りだくさん！さらに、実際に水を循環させて内部の動きを見ることのできる雨量計も、気象台さんからお借りして展示しています。ぜひこの機会に、転倒ます型雨量計の“ししおどし”のしくみ、シーソーのような動きをご覧ください。

まず、展示「ミニ露場」で実際の観測の様子をイメージしていただき、様々な気象測器が並ぶ「観測」コーナーへ。そして、天気予報は様々な気象観測をもとに将来を予測します。「予報」コーナーでは、天気予報ができるまでの流れをご紹介します。「天気の原理」コーナーでは、夏休みの自由研究ネタにもなりそうな天気の原理をご紹介します。実は、天気には科学がいっぱい！そして、今年140周年をむかえる「大阪管区気象台」コーナー。ここでは、大阪管区気象台の歴史や仕事についてご紹介しています。

いつも何気なく見ている天気予報。現在では、観測から予報までかなりの部分が自動化されていますが、それでもやっぱり、人の手作業や判断は欠かせません。そして昔はもっと…。今回の企画展では、昔の観測方法なども含め、お天気や天気予報を身近に、楽しく、より深く、様々な面からお楽しみいただければと思っています。そして、天気予報の結果だけではなく、「こんなふうに観測されてたのか」とか「天気って面白いな」とか、少しでもお天気に興味をもっていただけるきっかけになれば嬉しいです。



入口では「はれるん」(気象庁マスコットキャラクター)がおでむかえ♪



転倒ます型雨量計のしくみがわかります！

西岡 里織(科学館学芸員)

学芸員の
展示場ガイド

「学芸員の展示場ガイド」では、サイエンスガイドの方と色々な展示を動画で紹介しています。ホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください！